

授業科目名	比較高等教育論演習
科目番号	CB25192
単位数	1.0 単位
標準履修年次	3 年次
時間割	秋AB 木3
担当教員	田中 正弘
授業概要	大学の授業で用いられる教育技法の一つである「ディベート」について、多様な技法を学ぶとともに、理論的思考力の育成を目的とする模擬授業を計画実践する。
備考	対面
授業方法	演習
学位プログラム・コンピテンスとの関係	学位授与の方針(2)「教育に対する幅広い学識を修得し、体系的な見方・考え方が出来る」および(4)「教育学の理論と実践に関して、大学院に進学できる水準の基礎的研究能力を備えている」
授業の到達目標(学修成果)	教育方法の一つである「ディベート」について、大学で活用する意義を説明できる。ディベートを用いた授業を計画実践できる。
授業計画	<p>学生の理論的思考力を育成する教育方法である「ディベート」について、「立論の組み立て方」、「反駁の仕方」、「尋問の仕方」、「ロジックの検討」、「第二反駁の仕方」、「わかりやすい話し方」、「審判の仕方」などの技法を学び、期待する学習成果を得られるような模擬授業を計画実践する。</p> <p>第1回 ディベートとは(イントロダクション)</p> <p>第2回 ディベートの概要、議論の流れ、スピーチの役割</p> <p>第3回 立論、反駁、尋問の仕方</p> <p>第4回 ロジックの検討、第二反駁の仕方、わかりやすい話し方</p> <p>第5回 審判の仕方、ディベートの試合</p> <p>第6回 ディベートの授業を計画してみる(1)</p> <p>第7回 ディベートの授業を計画してみる(2)</p> <p>第8回 ディベートの授業を実践してみる(1)</p> <p>第9回 ディベートの授業を実践してみる(2)</p> <p>第10回 より良いディベート授業とは</p>
履修条件	高等教育に関心のある学生であれば誰でも歓迎します。
成績評価方法	模擬授業の計画・実践(50%)、および毎回の授業での準備状況(25%)と発言内容(25%)で判断する。
学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	<p>第2回から第5回の授業では指定するテキストを読んできたことを前提に、対話形式の授業を行います。</p> <p>第6回から第10回の授業では、模擬授業を計画・実践してもらいます。</p>
教材・参考文献・配付資料等	1. 内藤真理子・西村由美(編)(2018)『大学生のためのディベート入門 論理的思考を鍛えよう』ナカニシヤ出版
オフィスアワー等(連絡先含む)	質問などは授業の前後に受けます(東京キャンパス勤務のため)。
その他(受講生にのぞむことや受講上の注意点等)	<p>授業中に積極的に発言することを期待いたします。一度も発言しない学生は欠席と同じ扱いになります。</p> <p>「比較高等教育論」を履修している、または履修済みであることが望ましい。</p>
他の授業科目との関連	CB25191 比較高等教育論
ティーチングフェロー(TF)・ティーチングアシスタント(TA)	

キーワード

高等教育, ディベート, 授業計画・実践